

<p>事例発表</p>	<p>⑤「認知症になっても私らしくいたい！」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笑顔になる時は、人と会って褒められることが多い ・リハビリは、私らしく生きるための支援であって、体力の維持や回復はその途中経過に過ぎない ・歩行訓練などを通して、できる能力に自信をもってもらい自分らしく生きることが目的 ・事例2件(介護度5の80歳代の女性)歩いたときに笑顔が見られるようになる ・環境が整っていれば、ご利用者様の動作能力は、職員が思っている以上に大きい
<p>発表者への質疑応答</p>	<p>①発表者の方に対する質問 質問者:「(具体的な)事例を教えてください」 発表者:「A氏、失ったものを満たしたい欲求 → 人との会話ができるように変わった」 司会者:「マズローの5段階、誰かのために生きるということがないと満足できない、その人が自分のことを認識していく、マズローを認知症予防に結びつけたところがよかった」</p> <p>②発表者の方に対する質問 質問者:「寄り添う体制が整っていてすばらしいと思った。防犯の対応を教えてください」 発表者:「夜勤帯には、外部からは建物内に入れない。夜勤者との連携をとっている」 質問者:「ご利用者様9名に対して、職員数は何人いるのか。ご利用者様が外食する際の金銭はどうしているのか」 発表者:「早番、日勤、遅番、夜勤体制をとっている」「無駄にならないように調整している、食費は施設の食材費」 質問者:「ご利用者様外出時の安全対策は」 発表者:「外出計画を立てて、(安全性など)企画が通らなければ外出することができない」 質問者:「外出などをすると家に帰りたくなってしまう場合がある」 司会者:「自分のいる場所を理解していないことがある。どこに帰りたいのかを明確にする。感情に働きかけることが重要」</p> <p>③発表者の方に対する質問 質問者:「促しをしても分かってもらえない場合はどうするか」 発表者:「実際に見てもらう。時間を置いて説明したり、人を代えて説明したりする」</p> <p>④発表者の方に対する質問 質問者:「一般の方も参加することでの効果」 発表者:「子供も参加するので、ご利用者様から見ると孫のように感じられ会話が広がる」</p> <p>⑤発表者の方に対する質問 質問者:「介護度が高い人へのリハビリの効果」 発表者:「リハビリをすることで全員が大きな変化が起きることはないが、小さな変化はある。手を伸ばすことができた、箸でご飯を食べることができたなど」</p>
<p>参加者の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症予防には、日々の積み重ねが大切 ・ご利用者様のありのままを尊重するには、職員の連携とご利用者様を知る努力が必要 ・職員の価値観や見方も大切 ・決めつけではなく、ご利用者様の可能性を探る



第7分科会・・・新しい施設づくりと運営・人材確保について

～社会福祉法人制度改革に学ぶ～

(特別養護老人ホーム会議室)

- ・KG宮城 佐藤由美子 「新たな時代に対応した福祉ビジョン」
- ・やすらぎの介護シャローム 俣木泰和「新しい施設のコンセプトの作り方と運営 人材確保」
- ・筑波KG 寺島亨智 「福祉村の始まりと広がり」

書記：橋村あゆみ（川口キングス・ガーデン） 発表：中島真樹（練馬キングス・ガーデン）

事 例 発 表	<p>1. キングス・ガーデン宮城 佐藤由美子氏 「新たな時代に対応した福祉ビジョン」</p> <p>(1)施設整備が中心であった従来型の社会福祉法人の経営からの転換期であり、今後の社会福祉法人は地域における公益的取り組みが責務。 ⇒KG宮城では、<u>多世代交流・多機能型の福祉拠点を作り</u>、街と地域と施設が有機的に繋がり福祉の隙間ができないよう、トータルケアサービスを目指した。 公益的事業・多世代交流・多機能型の福祉拠点の取り組みの一例</p> <p>①サービスの質の向上の為、家族会、入居懇談会、懇親会等の充実、第三者評価、苦情解決などからガバナンスを高める工夫を行った。</p> <p>②八日町ランチを立上げ、地域の高齢者や障害者による精算、販売活動を支援。</p> <p>③キングスタウン、キングスビレッジ、八日町ランチのスペースを利用し地域の子育て支援や介護予防教室など開かれた事業を行うことを計画し地域交流事業を開始。</p> <p>④自己財源により、配食サービスや地域の総合相談窓口の設置、UJターンの人の為のシェアハウスの開設、高齢者・障害者のための(配食サービス付)住宅を開設。</p> <p>⑤災害時の一時避難場所として、地域自治会との協定締結や支援の備えを実施。</p> <p>⑥子育て支援としてキンダークラブを開設、その他障害者と高齢者、職員と地域住民の交流、遊び場としてキングスファームの創設。</p> <p>(2)人材確保と育成。 UJターン事業への取り組みを、企業、気仙沼市、雇用支援企業が三位一体で実施。広告業者のセミナー参加も出来、自社の特徴やPRポイント、描く未来が明確になった。 人材育成には、3・6か月プログラムを作成すると共に福利厚生充実を図った。</p> <p>☆キングス・ガーデン宮城が気仙沼という地でかけがえのない存在になることが重要！ 職員はキングスガーデン宮城というブランドで働くことに誇りを持っている！</p> <p>2. やすらぎの介護シャローム 俣木泰和氏 「新しい施設のコンセプトの作り方と運営 人材確保」</p> <p>(1)コンセプトの作り方と運営 デイサービスが市場に4万件ある中では、【オリジナリティ】とそれを【周知】することが重要。 地域貢献や世代間交流などの【社会性】が重要。</p> <p>【オリジナリティ】歩くデイサービス⇒(歩きたい想いを歩ける喜びに)</p> <p>①「歩けないのは歩かせてくれなかったから」と言うお年寄りの一言から歩くことに特化したサービスを提供。</p> <p>②理学療法士が中心となりリハビリ室をイメージし歩ける環境を充実させた。</p> <p>【周知】</p> <p>①小冊子を作成し内覧会・研修会を行い、歩くことの意味を周知。</p> <p>②市内循環バス数台全面に広告をデザインし、市内をバスが循環することで広告効果上昇。</p> <p>③ブログで職員の思いを発信。</p> <p>【社会性】地域貢献・世代間交流ができるよう工夫。</p> <p>①デイサービス以外のサービスの充実。 *24時間看護師常駐のナーシングホーム、人材派遣業、不動産事業、住まいと暮らしの相談窓口開設など、介護保険だけでは支えられないサービスを提供し地域貢献。同時に経営の安定を目指す。</p>
------------------	--